



第4回

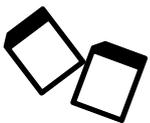
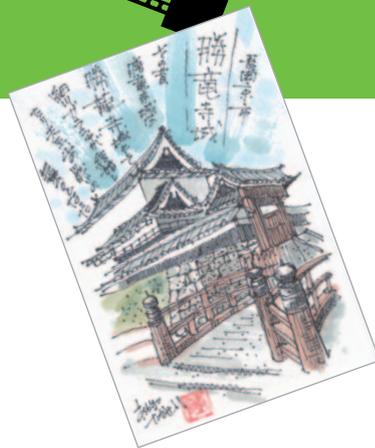
# ええはがき コンテスト

新駅  
[西山天王山]  
開業記念

阪急京都線

part 2

## 入選作品集



## 目次

阪急ええはがきコンテスト京都線part2について	1
最優秀賞 写真部門	2
最優秀賞 絵画部門	3
歴史・思い出賞	4
学生優秀賞	5
審査員賞 有野永霧先生	6
審査員賞 井上正三先生	7
大阪ええはがき研究会賞	8
向日市長賞	9
長岡京市長賞	10
大山崎町長賞	11
島本町長賞	12
高槻市長賞	13
広域作品賞	14
佳作 向日市	15
佳作 長岡京市	20
佳作 大山崎町	25
佳作 島本町	29
佳作 高槻市	33
佳作 広域 (京都縦貫自動車道沿道)	36
佳作 複数市町	40
阪急ええはがきコンテストの軌跡	41
審査員の先生方からのメッセージ	44

## ごあいさつ

地域(まち)の魅力を再発見し発信するイベント「阪急ええはがきコンテスト」。4回目となる今回は、2013年12月に新しい駅「西山天王山駅」が開業することを記念して、西山天王山駅を中心とする京都線沿線(向日市～高槻市域)、西山天王山駅で直結する京都縦貫自動車道沿道(亀岡市、京都市西京区・伏見区、八幡市、久御山町)を対象エリアとしました。

有名な観光スポットだけではなく、さりげないけれど印象的な風景をきりとった素敵な作品など、今回も約700枚の写真・絵画のご応募がありました。甲乙つけがたい数多くの応募作品を目前にし、審査員の先生方が激論を交わし、悩みながら選考していただいた結果、みごと入選作品として選ばれたのが、この作品集で紹介する75の作品です。

この作品集を通じて、みなさま方も今回の対象エリアの魅力をぜひ再認識してください。そして、ご自宅や日々の外出先の周辺でも、「ええはがき」の視点でまちの魅力を発見してみてください。

2013年12月

ええはがきコンテストのホームページ(<http://rail.hankyu.co.jp/eehagaki/>)では、今回のコンテストの全入選作品のデータがダウンロードできます。また、過去3回(2010年 宝塚線・箕面線沿線、2011年 今津線沿線、2012年 京都)の入選作品もダウンロードすることができます。

# 阪急ええはがきコンテスト京都線part2について

## 募集作品

豊かな自然や歴史的資産、さまざまな活動など、いろいろな視点から見た地域（まち）の魅力を写真やイラストなどで切り取り、それらに対する思いやメッセージをそえた絵はがき「ええはがき」を応募していただく。思い出の中の風景等を対象にした作品や、複数枚のはがきをセットにした作品の応募も可。

## 作品募集期間

2013年7月8日～9月30日

## 対象エリア

西山天王山駅を中心とする京都線沿線地域（向日市域～高槻市域）  
西山天王山駅で直結する京都縦貫自動車道沿道地域（亀岡市、京都市西京区・伏見区、八幡市、久御山町）

## 賞

最優秀賞 写真部門	1点	最優秀賞 絵画部門	1点
歴史・思い出賞	1点	学生優秀賞	1点
審査員賞	2点	大阪ええはがき研究会賞	1点
向日市長賞	1点	長岡京市長賞	1点
大山崎町長賞	1点	島本町長賞	1点
高槻市長賞	1点	広域作品賞	1点
佳作	62点		

## 審査員（敬称略）

有野永霧（写真家）、井上正三（画家）、杉本容子（大阪ええはがき研究会）

主 催： 阪急電鉄株式会社  
共 催： 阪急阪神ホールディングス株式会社  
後 援： 京都府、大阪府、向日市、長岡京市、大山崎町、高槻市、島本町  
協 力： 大阪ええはがき研究会、株式会社阪急コミュニケーションズ

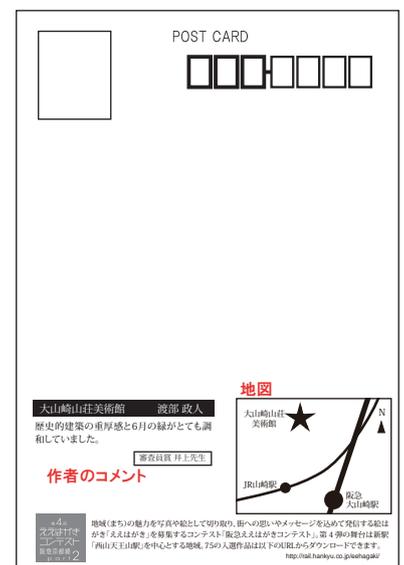
## ●ええはがきとは...

ええはがきは、「大阪ええはがき研究会」が提唱するまちの魅力を発信する絵はがきのこと。写真やスケッチに加え、作者の思いを伝えるコメント、撮影・スケッチした場所の地図が載っているのが特徴です。

### ええはがきの3つの楽しみ方

- 見て楽しむ** この作品集を見て、沿線のええスポットを再チェック！  
お気に入りの作品はWebからダウンロードしよう！
- 行って楽しむ** ええはがきを片手にまちの魅力を探しに行ってみよう！
- 送って楽しむ** ええはがきはもちろん葉書として活用OK。送って、あなたのまわりの人にまちの魅力を発信してみよ

写真・スケッチ



大山崎山荘美術館 渡部 政人  
歴史的建築の存在感と6月の緑がとも調和していました。

審査員 井上正三

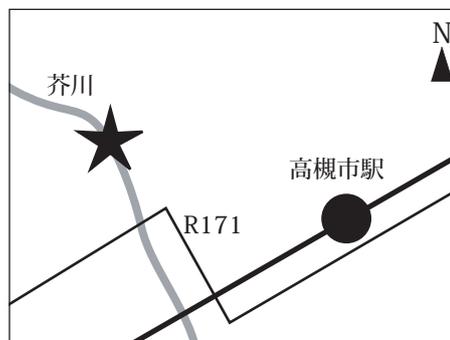
作者のコメント

4  
ええはがき  
コンテスト  
応募要項  
第2回  
地域(まち)の魅力を写真や絵として切り取り、届への思いやメッセージを添えて発信する絵はがき「ええはがき」を募集するコンテスト(阪急ええはがきコンテスト)。第4弾の開催は新駅「西山天王山駅」を中心とする地域。750の入選作品は以下URLからダウンロードできます。  
<http://rail.hankyu.co.jp/ehagaki/>



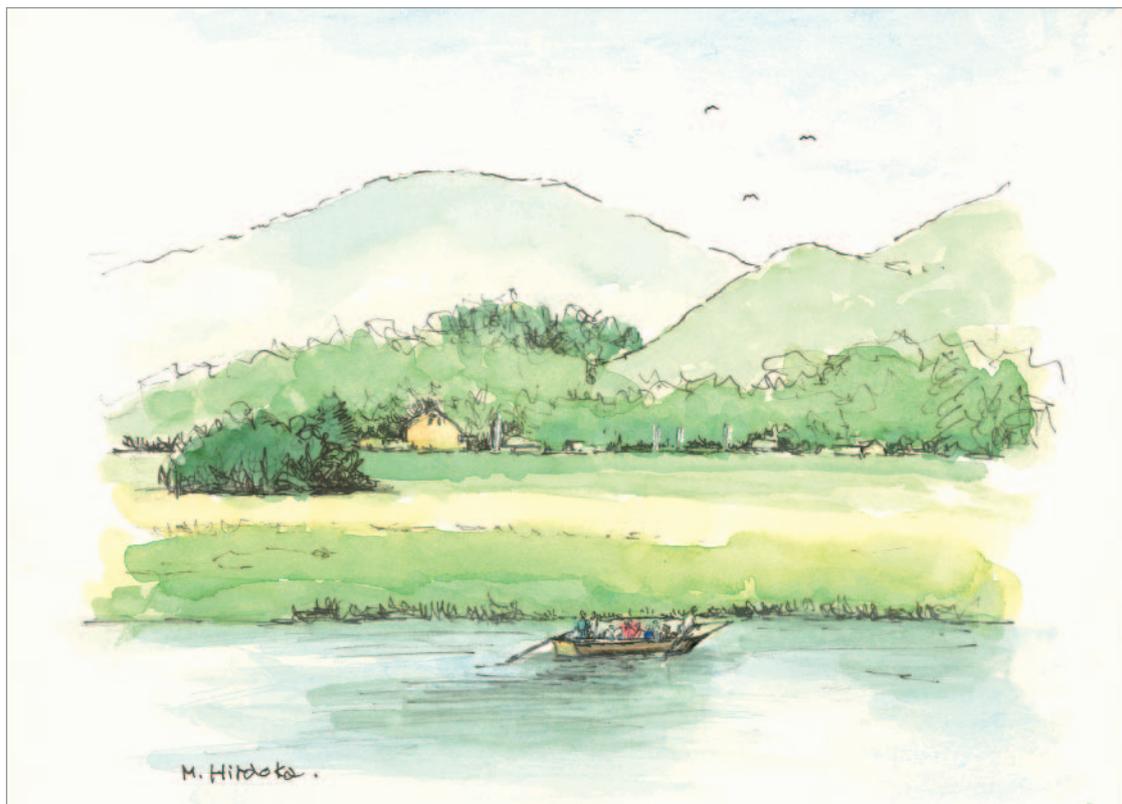
春 風 鳴瀬 博美

芥川のこいのぼりはその数の多さが圧巻です。  
手描きの物もたくさんあり、青空に春風も吹いて、こ  
の日は最高の演出でした。



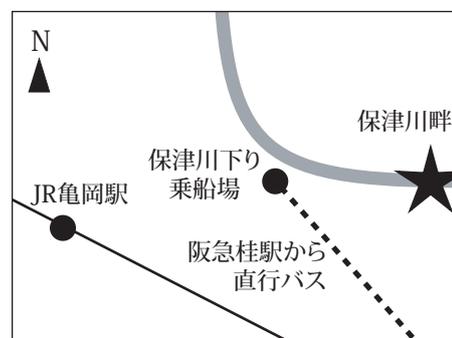
審査員  
講評

数の多さで有名な芥川の鯉のぼり。皐月晴れの空に、無数の鯉のぼりが元気よく泳ぎ、爽快な気分させてくれます。グラウンドに集まっている多数の子供たちの春を迎えた気持ちが鯉のぼりに乗り移っているように感じます。3原色を画面全体に小気味よく生かし、超広角レンズをうまく使っています。躍動感があり、品格も漂う作品です。  
(有野永霧)



保津川下り 平岡 正己

亀岡市は30年間を過ごした生まれ故郷。その亀岡が起点の「保津川下り」は嵐山で阪急電車に、そして第二外環状道路で、新駅「西山天王山」に繋がる…。また一つ、故郷と阪急のご縁が深まります。



審査員  
講評

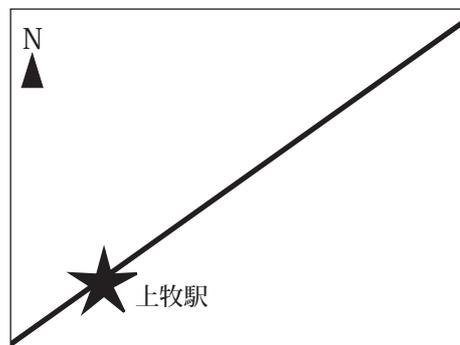
軽やかなペンタッチと拭くような筆さばきで仕上げたシンプルな表現は、旅人が川辺にふと足を止め、さらりと句を読むかのようなイメージです。亀岡の保津川沿いはこんな原風景が広がっているのですね。やわらかで壮大な風景の中を川下りの船が通り過ぎる風情は、“静寂の中の一瞬の動”を感じさせます。粋ですがすがしい作品です。(井上正三)



## 新幹線の線路を走る阪急電車

山下 勝久

開業前の新幹線の線路を走る大阪行き普通と、地上の線路を走る京都行き普通が上下に分かれてすれ違う。阪急の地上の線路が高架線に切り替えられる前に、新幹線の線路を一時期借用していた頃の一コマ。



### 審査員 講評

昔懐かしい鉄道風景というだけでなく、その意味を知ると誰もが「へえ～」と再び見入ってしまい、思わず誰かに教えてあげたくなってしまうのがこの作品の魅力。淀川の流れとともにJR・阪急電鉄・新幹線・京阪電鉄と4つの鉄道が東西に併走しているのが京都-大阪間のまちの特徴であり、このまちでしか撮れない貴重な歴史のスクープ写真です。(杉本容子)



## 秀吉の道

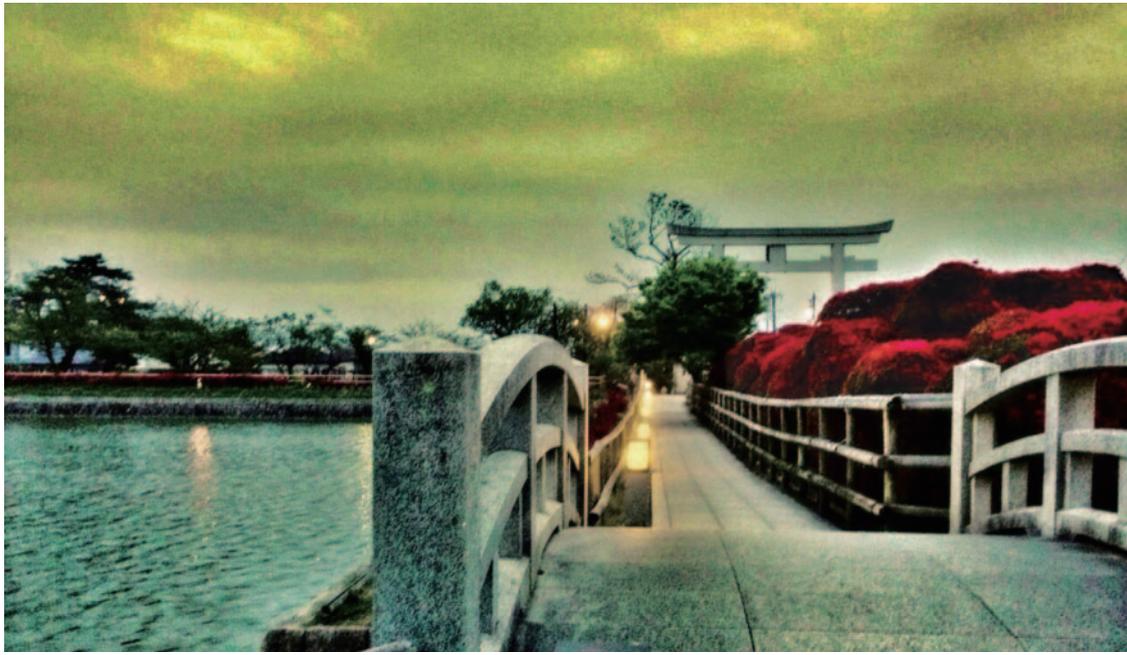
呉 宗翰

ハイキングで天王山に登る途中、桂・宇治・木津川の合流先—淀川などが見える開けた景色が目に入ってきました。その偉大な景色が歴史で有名な合戦が起きた場所と聞き感銘を受け、歴史に思いを馳せながら描きました。



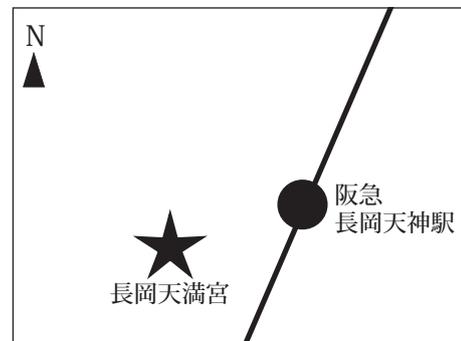
### 審査員 講評

三川合流地点が見え、鉄道や道路が交錯する広大な地域を一気に捉えた作品ですね。天下分け目の天王山と言われた山崎の合戦を一望に見渡せる酒解神社付近からの眺望は、まさしく合戦の歴史に思いを馳せるには最適な場所であったと思います。広大な遠景の中の近景の配置が効果的でより遠近を生んでいます。筆さばきも軽快です。(井上正三)



色彩 谷中 萌恵

赤いつつじに大きな鳥居、池とそれに架かる橋や優しい灯。長岡天神の魅力を一気に伝えたくて撮りました。



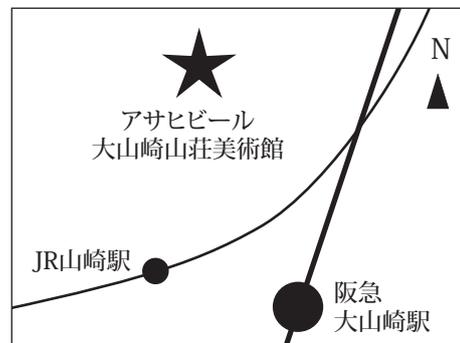
審査員  
講評

奇妙で、不気味な雰囲気漂っている。独特の色彩を使うことで普段と異なった新しい長岡天満宮が表現されています。画面の不鮮明さも逆に魅力となっている。作者は高校3年生。写真を写すだけでなく自分独自の表現をしようとする若者らしい作品です。(有野永霧)



大山崎山荘美術館 渡部 政人

歴史的建築の重厚感と6月の緑がとても調和していました。



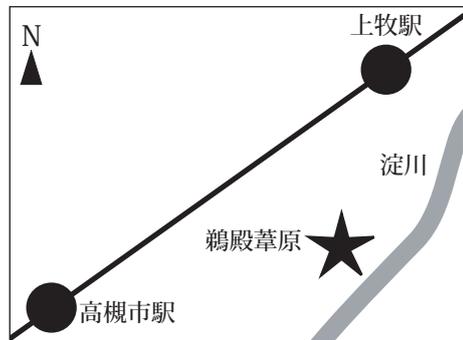
審査員  
講評

対象との距離、視点、全体の構成、色の濃淡、色調どれも素晴らしい作品です。特に明暗の対比と暗部の構成が目を惹きます。この建物は多くの方がこのアングルで描かれていますが、そのポピュラーさを撥ね退けた魅力をこの絵には感じます。この作者はこれまでのコンテストにも出品され、それぞれがよい味を出されています。(井上正三)



## 高槻 鶴殿と原発送電線塔 岡島 信博

歴史的にも、素晴らしい鶴殿の草原は雄大な景観です。又原発の送電線の鉄塔、淀川の歴史を感じさせる空間です。もっと観光名所として伝達PRすべき遺産です。



### 審査員 講評

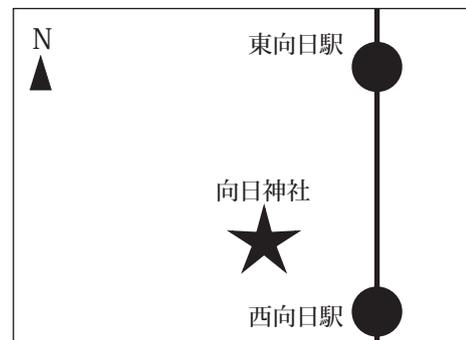
ともすればまちの迷惑者として嫌われる送電線の鉄塔を淀川の歴史の延長と捉えて「観光名所としてPRすべき遺産」と言い切ってしまう視点がユニーク。個人の想いや発見がまちの新たな魅力を生む可能性を感じさせる作品です。この場所を楽しむ人々も細やかに描かれていて、天気の良い日に散歩しにいつてみたくくなります。(杉本容子)

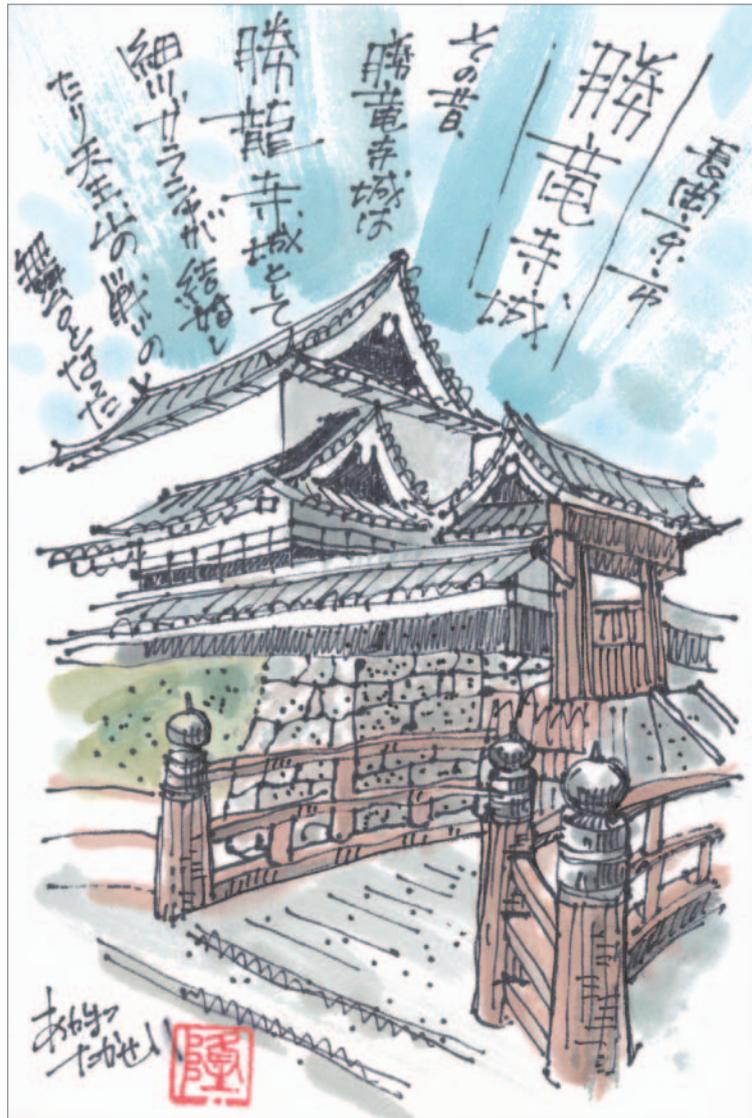


## 夏の影

丸山 敏之

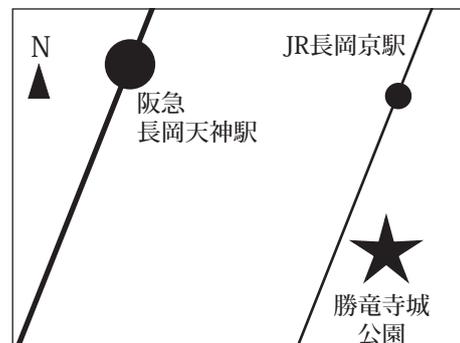
早朝の散歩で見つけた規則正しい模様は、神社の能舞台に映る提灯の影でした。今年の夏は暑く、早朝といえども既に強い日差しが照りつけていたのですが、提灯がつくる長い影は、朝の涼しさを感じさせてくれました。





## 勝竜寺城にて 赤松 隆誠

勝竜寺城は細川ガラシャが結婚したり、天王山の戦いの舞台になったりと、歴史に登場しました。一番いい角度から描いてみました。

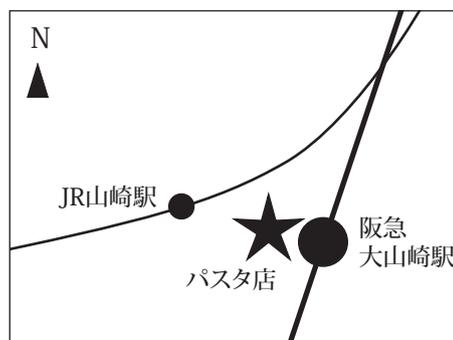


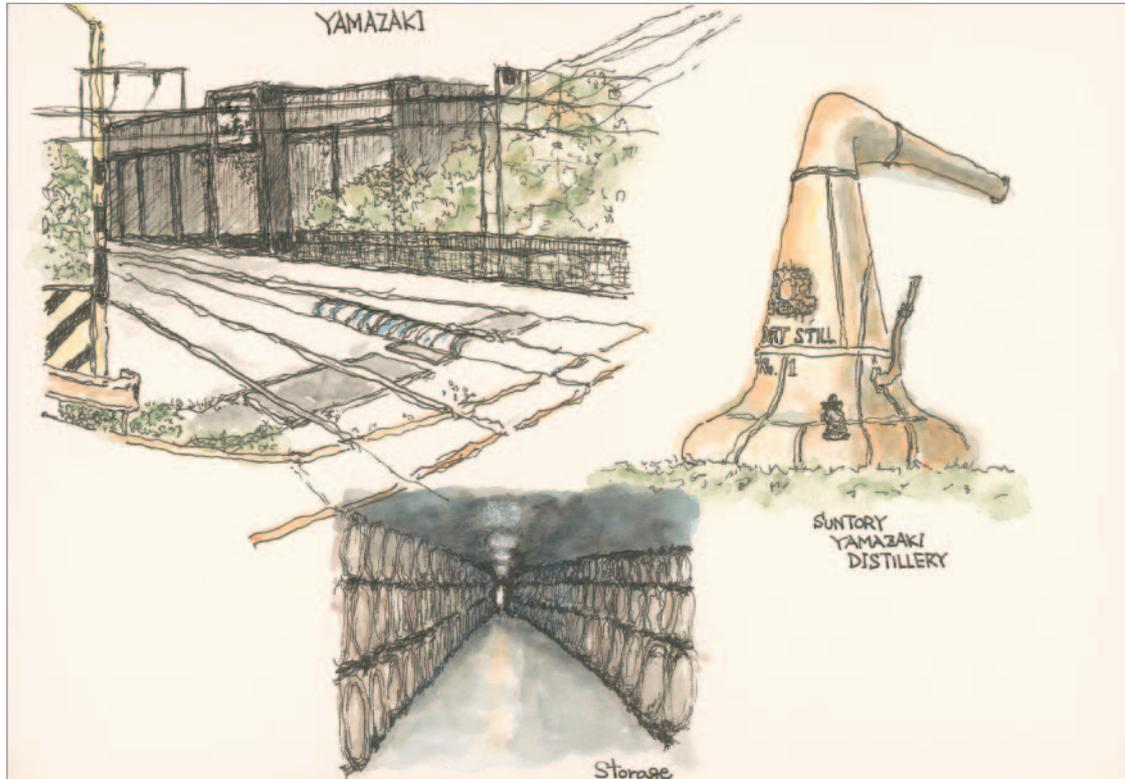


## 駅前のパスタ店

佐々木 幹夫

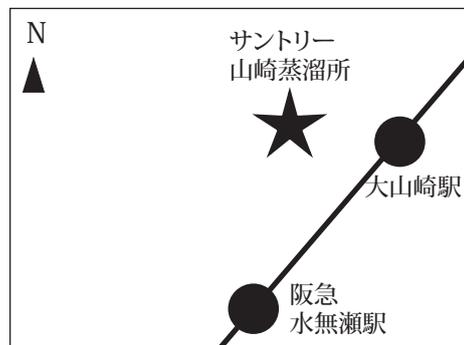
古い民家を改装して3年前にパスタ店ができた。美術館の帰りに、女性を中心に多くの人が入っている。他に数店、おしゃれな店もできて、町のイメージも随分変わってきた。





## 山崎春の遠足 今井仁美

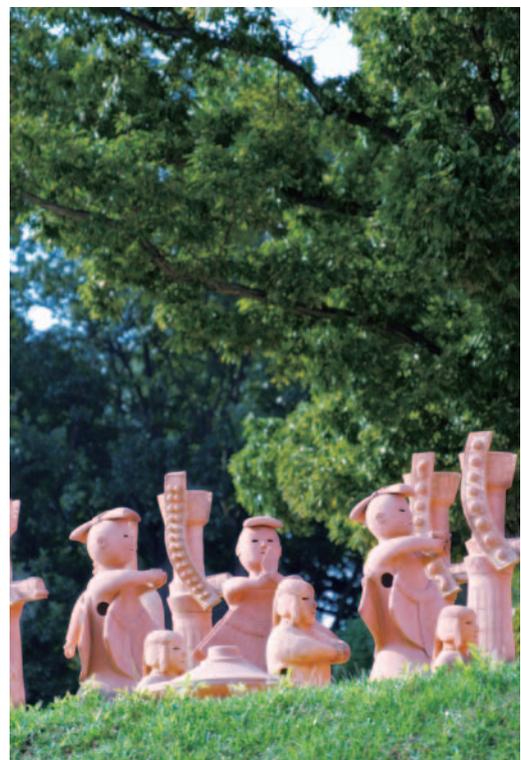
友人に春の遠足に行きませんか?と2日前にさそわれ行った時の思い出を絵にしてみました。私は一駅先の長岡京市に住んでいるのに、近すぎて行けていなかった山崎の緑のやすらぎ、当日は雨でしたが緑が美しかったです。



わがまち高槻のシンボリックランドマーク。継体天皇の真の墓陵ともされるが、宮内庁指定ではないため、公園として整備されている。故に子供を連れて遊びに行くにも非常に良い環境で、四季折々に古墳の姿を楽しめる。

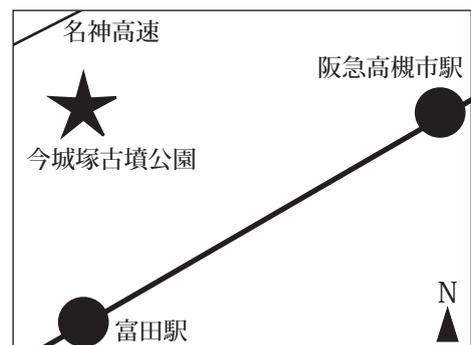


中でも、これらのハニワのレプリカが200体以上並ぶ「祭祀場」は幼老を問わず、見るだけで楽しい場所。私も2人の娘を連れて、何度となく訪れていますが、いつも歓声を上げて楽しみ、帰宅してからも会話に上ります。



こんなにも古代を身近に感じながら、お弁当を食べたり、かけっこをしたり、本を読んだり、様々に楽しめる「まほろば」。多くの人に知ってもらえたらと心から思える場所です。

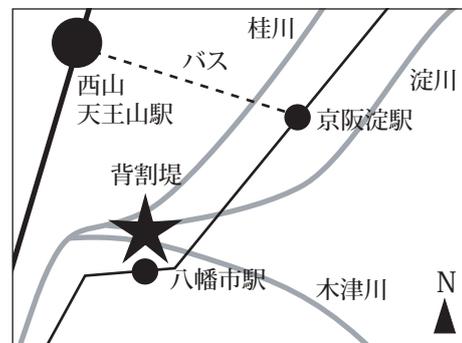
古に戯れる「まほろば」 zemkyou (PN) (3枚組)





嬉しい春 羽嶋 和子

待ちわびた春。満開の桜の下で走り出す子供たち。  
浮々の嬉しい春の一日です。

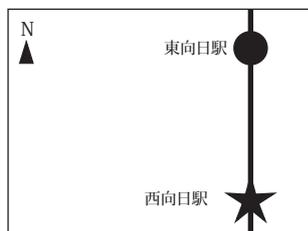


審査員  
講評

土手に並ぶ素晴らしい満開の桜の下で、浮き浮きとしてはしゃいでいる家族は、春を待ちわびた土筆(つくし)のように見える。特に駆け降りている少年の姿かたちが良く、家族と共に過ごす喜びがひしひしと伝わってきます。正面からとらえたアングルと適切な距離感、そしてシャッターを押したタイミングなどが絶妙です。(有野永霧)

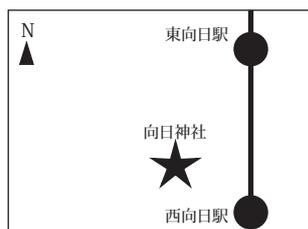
## お別れ くるとん (PN)

大好きだった人と見た夕焼け  
いつもお別れする場所



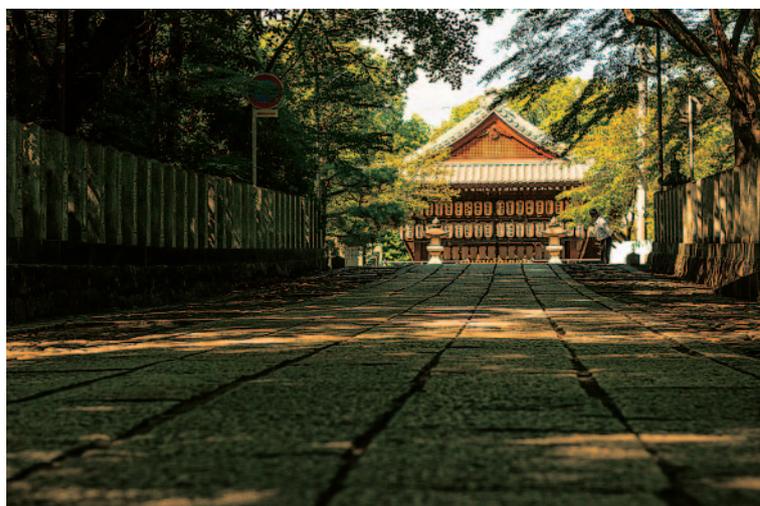
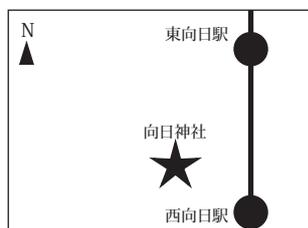
## 陽炎の道 丸山 敏之

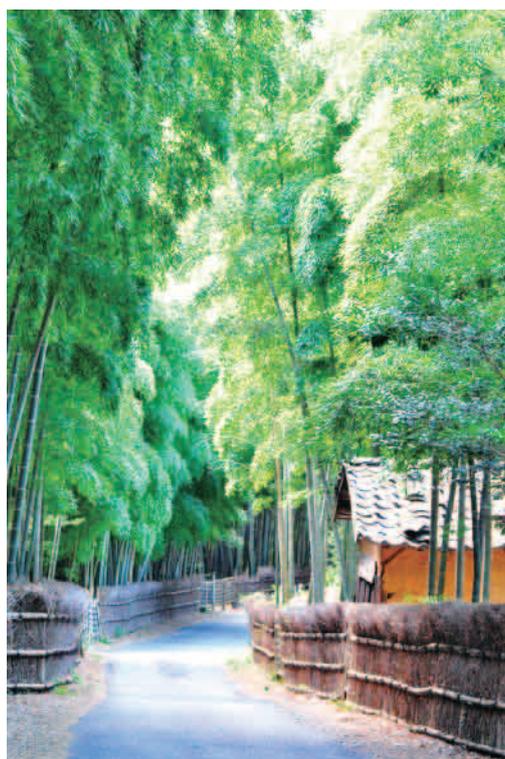
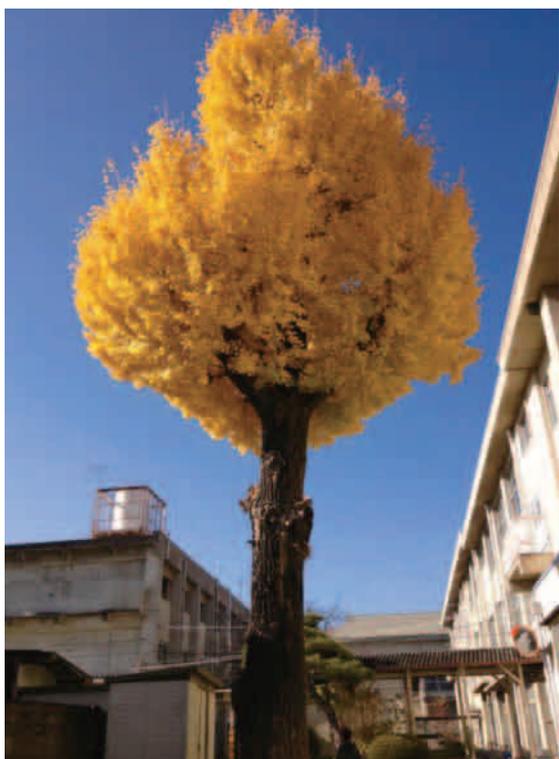
向日神社の参道は市民の散歩道になっています。長い参道の石畳には、夏の強い日差し  
の反射と木々の影が斑模様を作っていました。神社から早朝の参道を見下ろすと、  
散歩する年配の人々の姿が陽炎のように見えました。



## 木漏れ日 真鍋 智亜美

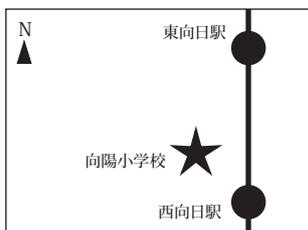
向日市に住み始めて25年程たちましたが、向日市は魅力的な町であり、魅力的な場所  
が多くあります。  
それを皆さんにお伝えしたく撮影しました。





**創立140年のイチョウ 井上 舞**

わたしたちの「こうよう小学校」は創立140年をむかえました。空に向かって「こうよう」しているイチョウが炎に見えました。



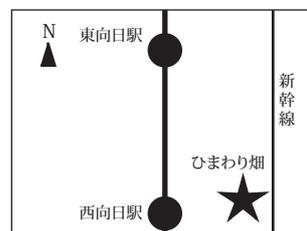
**竹のささやき 王 桂霞**

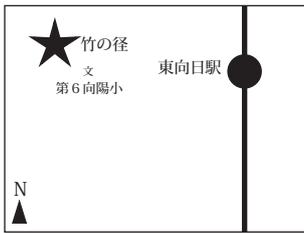
はじめて行った「竹の径」は夏なのに涼しかったです。私の国にはない日本の文化にふれて感動しました。



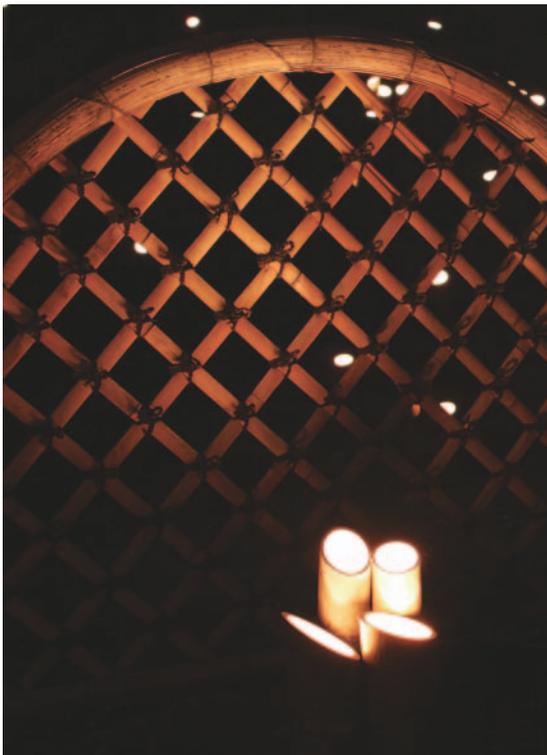
**夏目 居原田 晃嘉**

向日市の花であるひまわりの花畑を少し上方から全体的に撮り、市の象徴としてのイメージを表現しました。

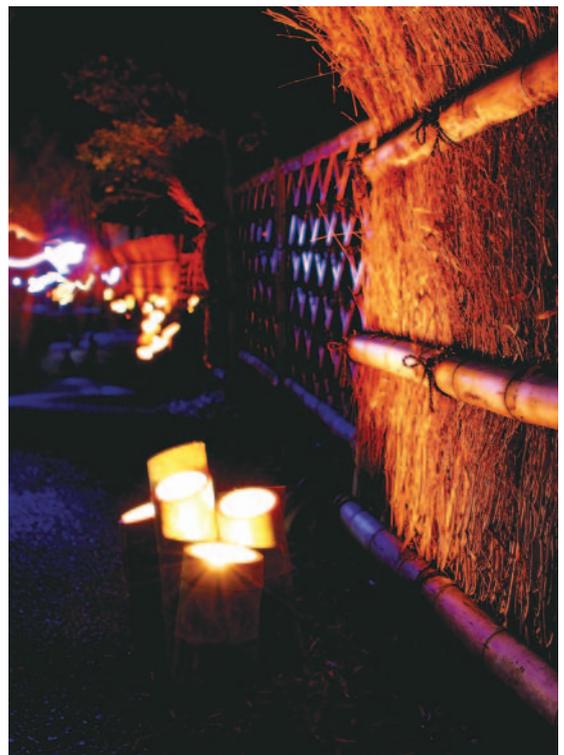




毎年10月に向日市で行われる竹の径でのかぐやの夕べのひとつです。竹あんどんが夕闇の竹林や、いろんな種類の垣を彩ります。



竹あんどんの灯りに浮かび上がる古墳垣。昼間にはない風情が魅力的です。



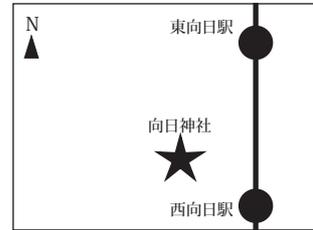
来迎寺垣を照らす竹あんどん。その奥にも優しい灯りが点在します。



### 晩秋の向日神社

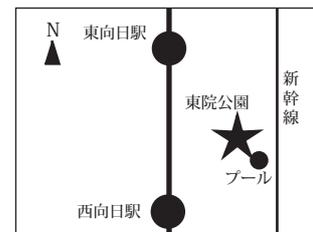
小巻 真司

近くに住んでいながら、なかなか訪れる事が出来なかった向日神社。やっと去年の紅葉真っ盛りの季節に訪れることが出来ました。



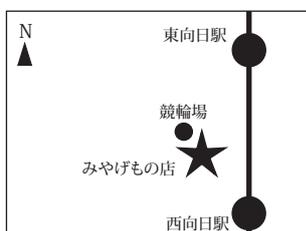
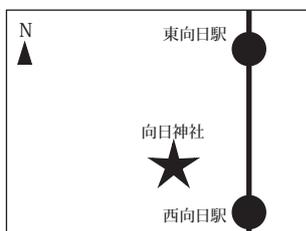
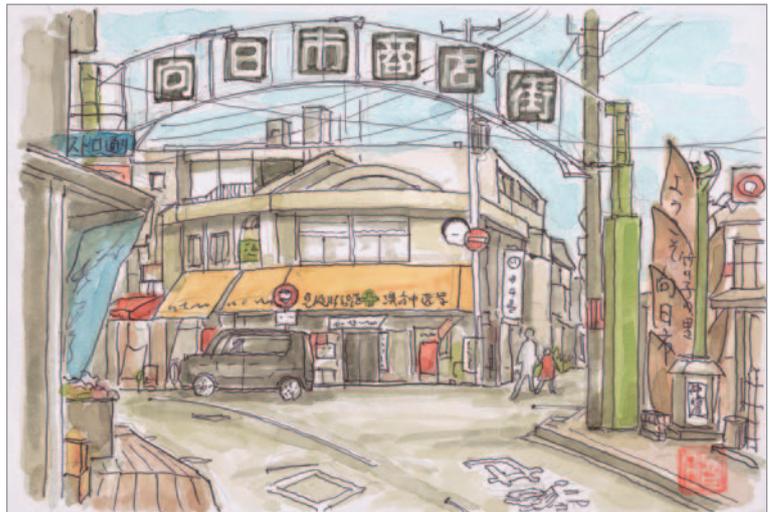
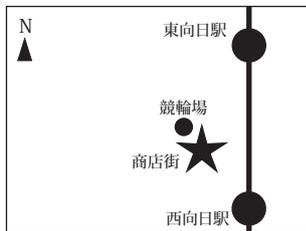
### むこうに、にらみをきかせる 井上 笙

向日市には大きな大きなオニがわらがあるよ。  
大きな目にはいつもこっちを向いてにらまれている気がするよ。



向日市商店街・向日神社参道・みやげ物店  
東 昭 (3枚組)

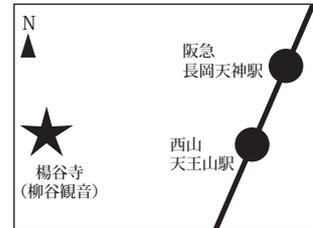
長岡京跡地はこの齢になって近くに住んでいながら初めて訪れた。向日神社、向日市中心街を通り行きついた竹の径は季節はずれか人気はなく、急に降り出した雨に心が洗われる気がした。





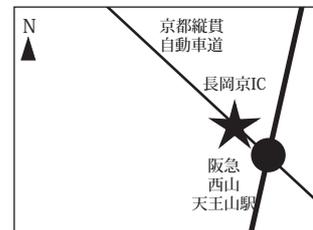
寒中の行 馬場 昌鷹

四季を通じて優しさに包まれた景色で私  
たちを迎えて下さるお寺です。雪の舞う寒  
中の護摩行を見た後の心洗われる雰囲気  
も良いものです。



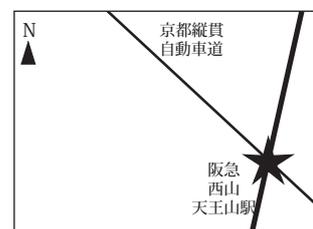
軌跡 眞殿 英一

西山天王山駅の近くにある京都縦貫自動  
車道の長岡京インターチェンジです。  
走り抜けていく自動車のライトが軌跡とな  
って現代アートのようにとても綺麗でした。



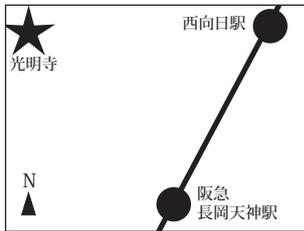
巨大なしっぽ 森本 俊幸

西山天王山駅の京都縦貫道路に夕日があ  
たりうるこのような模様に気づきました。  
巨大な爬虫類の尻尾のようで空想の世界  
にいざないます。



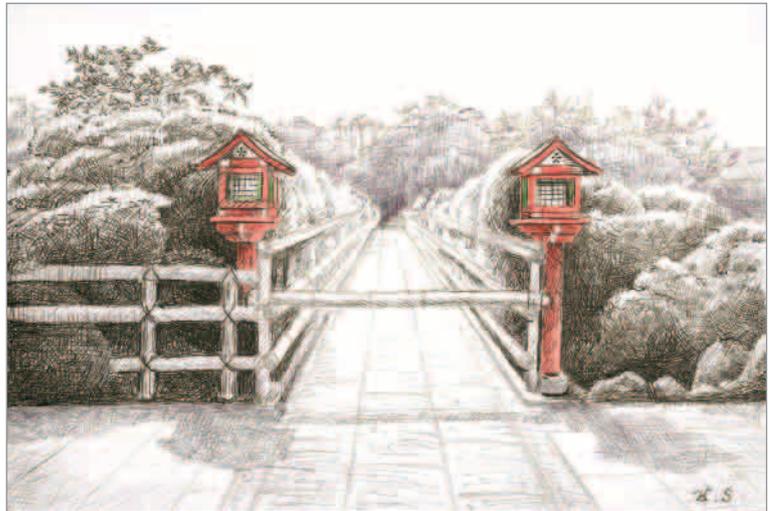
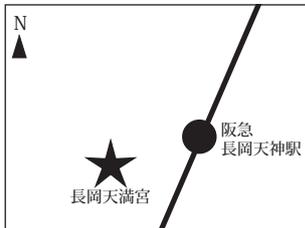
## サーフィンする獅子 宮田 仁

大屋根の上の獅子を望遠レンズでズームして見ると屋根瓦が流れる波のように見えサーフィンで楽しんでいる様だ。



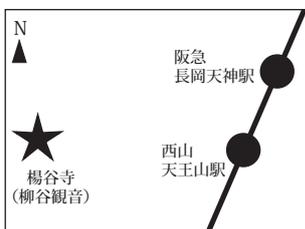
## 通りゃんせ 隅田 博美

長岡天満宮へ蓮を見に行った折、きれいな小道を境内で見つけました。通りたいのに通れないその道は、なおさら魅力的に見えました。天神様の細道は、こんな感じなのでしょうか。



## 七色に咲く 谷川 憲一

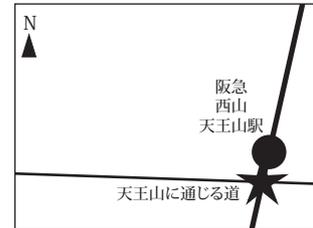
京都府の指定名勝で境内の庭には、数多くのアジサイが咲き乱れ毎年「あじさいまつり」が行われる。その時期は色彩の庭園となります。





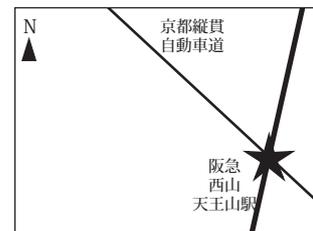
### 西山天王山駅西の天王山に通じる道 今西 政夫

歴史をしのばせる石碑と燈籠が小泉川のほとりに建ち、調子八角踏切を上っていくと、小倉神社があります。この西山天王山あたりは、春の桜、秋のもみじを見ながらのハイキングコースですね。



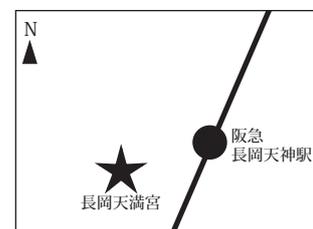
### 西山天王山駅を訪ねて 中村 勇人

よせばいいのに、西国街道を歩いて新駅まで行ってきました。30℃を越える炎天下、やっとの思いで着いてみると、まだまだ工事中で遠くから新駅を眺めていました。



### パパと一緒に 松山 俊弘

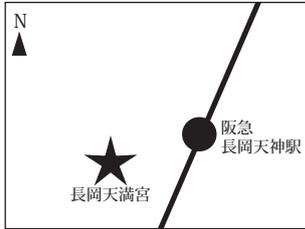
長岡天満宮の八条ヶ池の周りは市民の散歩道として親しまれている。



## ひなたぼっこ

江見 祐美

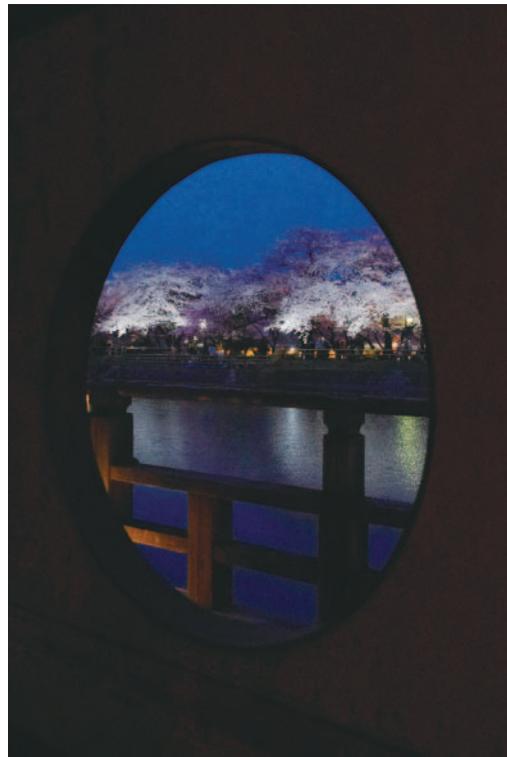
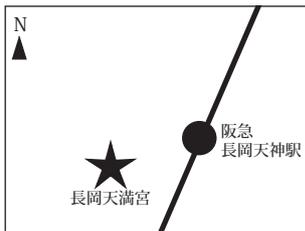
晴天の日。きれいに並んだ梅干し。太陽のひざしをいっぱいうけて、おいしくなるんだろうな……。一粒食べたら1年長生きしよう!!



## 夜桜の窓

水上 毅

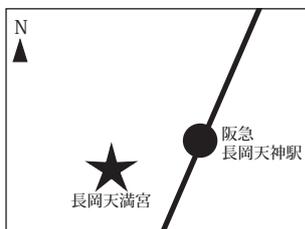
八条ヶ池にあるあづまやの丸い窓から見える夜桜にうっとり。ゆったりと静かな眺めに思わず時間を忘れてしまいます。



## 寄り添う牛

前田 穰

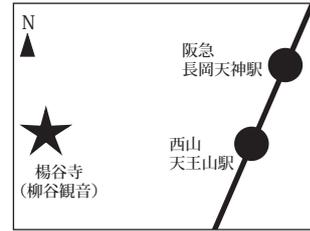
長岡天満宮境内、手水舎の横に、石像とブロンズ像の臥牛が2頭並んでいる。その存在感が何とも面白く、さっそく絵に描いてみた。





本堂に大きな赤いちょうちんがかかっている。

導き 木村 成宏 (3枚組)



目の病にご利益がある独鈷水へ続く石畳。雨に濡れてしっとり。

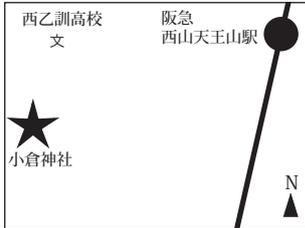


やさしく慈しむお地蔵さん。

# 佳作 大山崎町

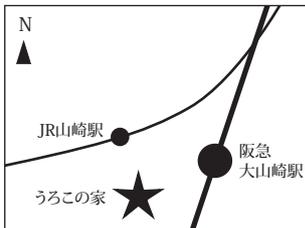
## あせらず・長生き・御一緒に 谷三和子

(名前の通りのパワースポット) “霊気みなぎる lovely tortoise”



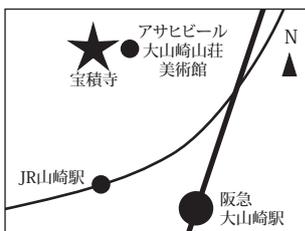
## 大山崎のうろこの家 Pooh (PN)

大山崎のまちをぶらぶらしていると目につくのがこの銅板葺きのお家。隣の古いお家も含めて、いつまでもこの景色が残っていてほしいと思います。



## 鬼くすべ 小巻 真司

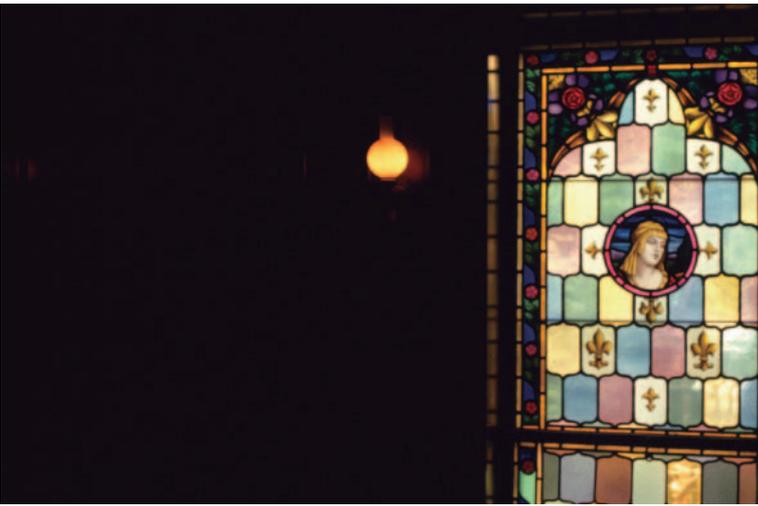
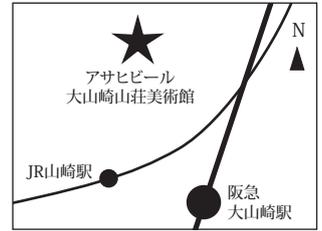
追儺式と言えば2月3日が定番ですが、ここ宝積寺では珍しく毎年4月18日に行われます。





**思い出の大山崎山荘 Hiromune.R**  
(3枚組)

兄の大好きだった写真撮影。中でもお気に入りの撮影場所だったのが、大山崎山荘美術館でした。



兄は既に持病で亡くなりましたが、生前幾度となく足を運び、「いつか大山崎山荘の写真で個展を開くのが夢・・・」と語ってくれていました。

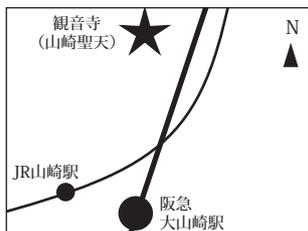


阪急沿線在住でこのコンテストを知り、兄の代わりに応募してみようと思いました。



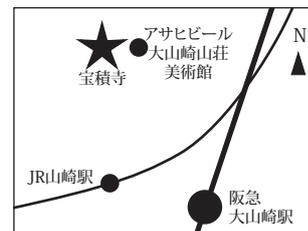
**銀杏のジュウタン 松山 俊弘**

観音寺の仁王門を少し下った竹林前一面には銀杏のジュウタン。黄金色の銀杏の落ち葉と背景の竹林の光景は素晴らしいです。



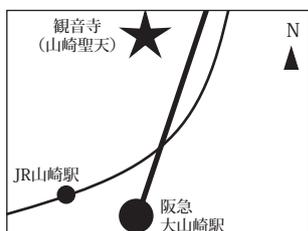
**ご苦労様です T.N.**

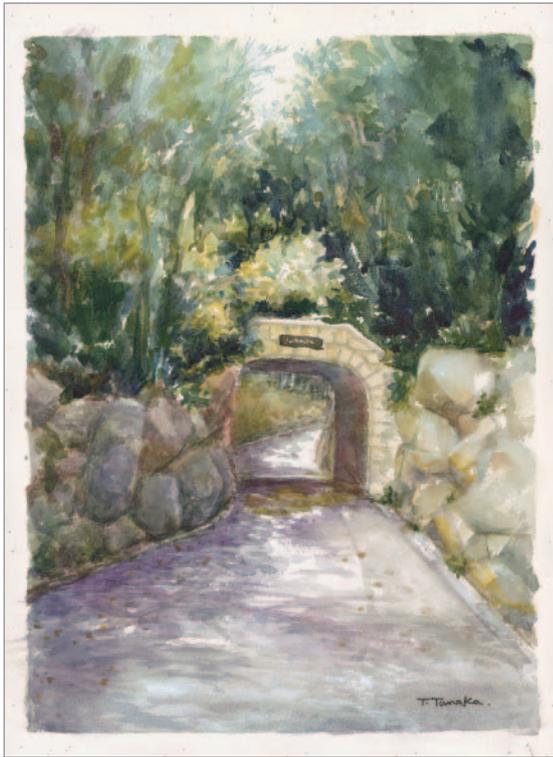
宝積寺三重塔前の墓地におられる六地藏さま、強い夏の日射しにもびくともせず、静かなおだやかな表情でした。



**桜の山寺 中川 浩之**

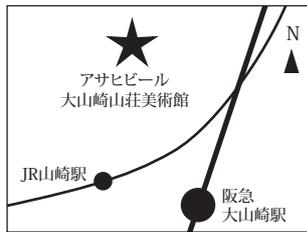
満開のさくらと晴れわたった青空が、絶妙のコントラストで目に飛び込んできました。





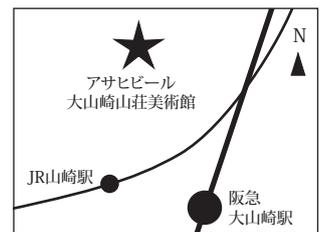
**山荘美術館への道 田中 昭雄**

”ありがとうございます”と運転手さんに声をかけ、バスを降りると小さなトンネル、「アプローチのトンネル」と云うそうです。暑い時は一休み、雨の日は雨宿りと色々な思いを込めて命名されたのかな？



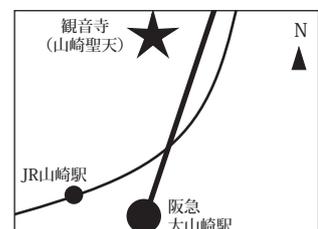
**美術館の記憶 中村 勇人**

20年ぐらい前に行った記憶があり、たしか長い階段を下りて行くと丸い展示室にモネの睡蓮が、までは憶えているので、記憶を頼りに描くとどいたいこんな感じの所でした。



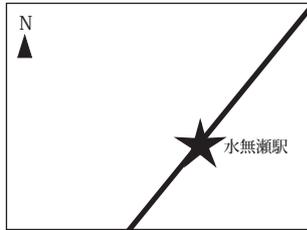
**ゆっくり行こうよ 田中 雅之**

ここは山崎の聖天さん、石段はその辺りから急になりますよ。今日のような暑い夏の日には、ゆっくりゆっくり、休みながら上られるのがよいかと・・・



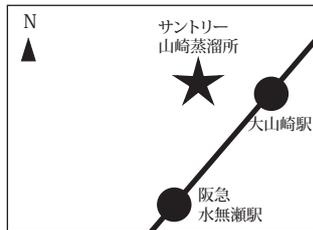
## 交通の要衝 水上 毅

淀川と天王山の間には、阪急電車やJR、新幹線、名神高速道路などの交通の動脈が行き交っています。水無瀬駅で待っていたら京とれいんとのぞみ号が顔を合わせました。



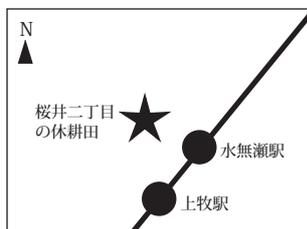
## サントリー山崎蒸溜所内 貯蔵庫 井貫 百合恵

蒸溜された原酒が樽に詰められている貯蔵庫を描きました。冷んやりとした空気の中で静かに永い年月横たわっている樽が蒸溜所の方から温度管理のもと、大切にされていると感じ、その雰囲気を描きたくまりました。



## 春の風物 ミヨシトシオ

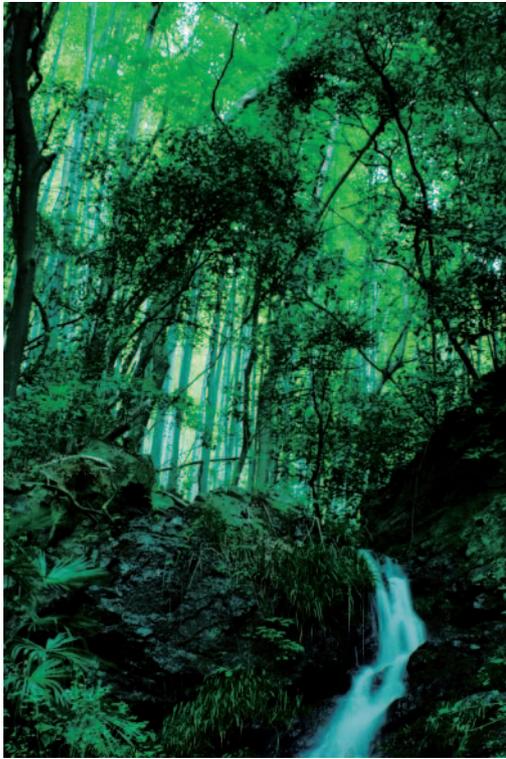
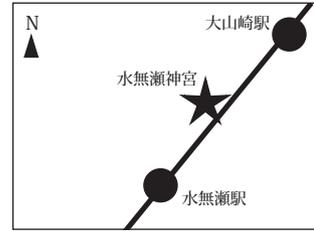
休耕田に青竹を立ててこいのぼりを泳がせていた。園児はレンゲ等、摘みながら走り回っていた。





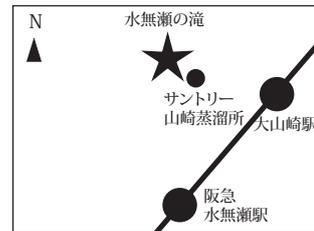
**春の水無瀬神宮 中川 浩之**

満開のさくらに、ちょうど夕方の日ざしが当たった時をねらいました。



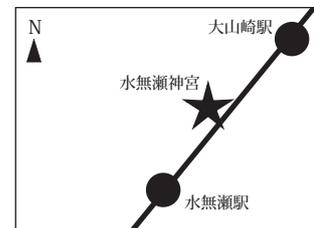
**緑に流れる滝 片山 誠司**

撮影によく行く場所です。初夏の新緑がきれいで涼しげな滝をポイントに撮影しました。



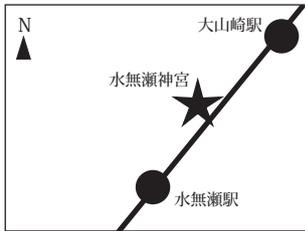
**名水を求めて 椿原 ヨシハル**

残暑の9月のある日、名水百選の「離宮の水」に並ぶ人々が印象的な場所でした。



## 離宮の水 Y.K. (2枚組)

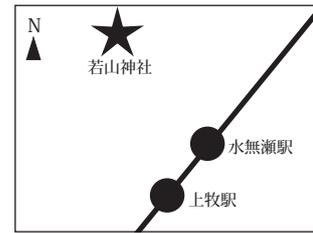
「離宮の水」で知られる水無瀬神宮。大阪で唯一「名水百選」に選ばれたおいしい水を汲みに、たくさんの方が来られていました。



サントリーのCMにも取り上げられた手水鉢を切り取ってみました。



若山神社 青葉 (PN) (3枚組)



息を切らせて登る石段。境内まであと少しのこの瞬間がとても好きです。みなさん、登ってみて下さい。



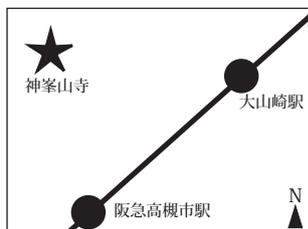
よく見ると、狛犬が4体いるんですが、分かりますか？



小さなお稲荷さんたち。奥まった場所にありますが、是非、探してみてくださいね。

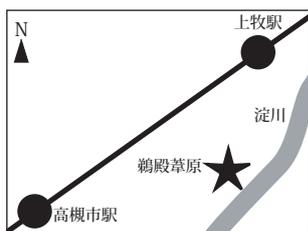
## 秋の鐘楼 中川 浩之

鐘をつこうと鐘楼に登ると、鐘越しに紅葉した木々がまぶしく見えました。



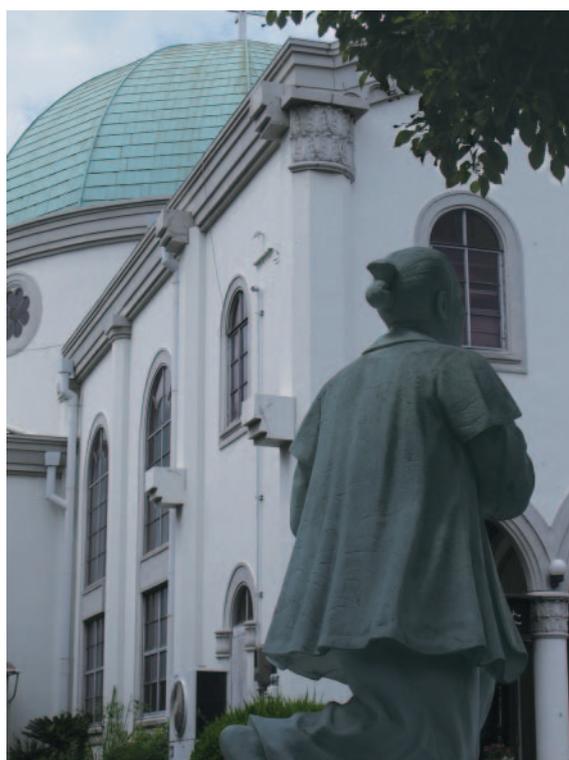
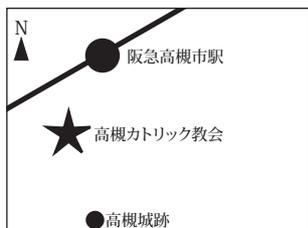
## 葎焼き2013 片山 誠司

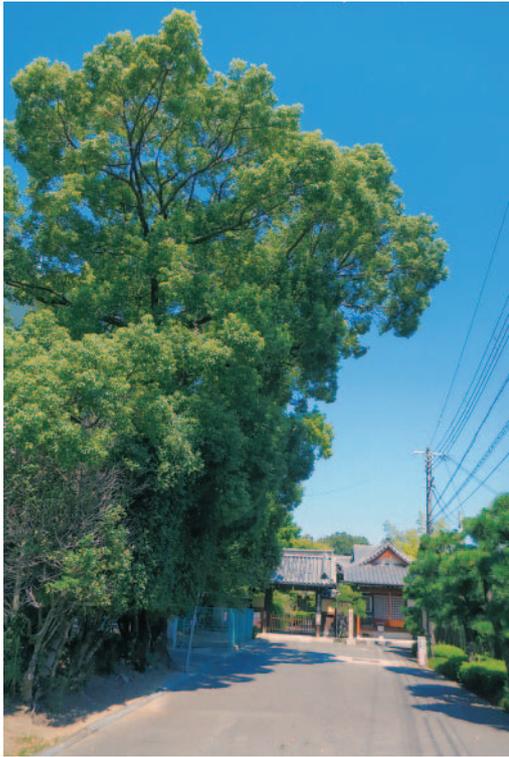
ヨシ焼きの煙を印象付けるため、モノクロにして撮影しました。



## 祈り 田沼 薫

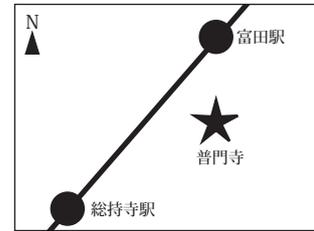
聖堂の前庭に建つ高山右近像。  
高槻城主であったキリシタン大名の右近は、今でも「永遠に平和な世が続くこと」を祈っているのだろうか？





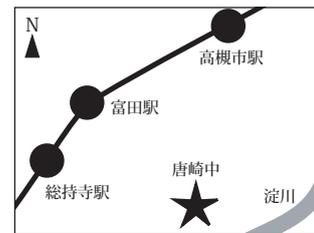
### 思い出古木 浅田 正義

高槻市の古木に指定されているくすの木の  
 下に旧富田尋常高等小学校の正門があ  
 った所で、最後の卒業生として思い出が深  
 いところです。木の下に白い角柱が当時そ  
 のままに両側に立っています(門柱のあ  
 と)。山門は普門寺。



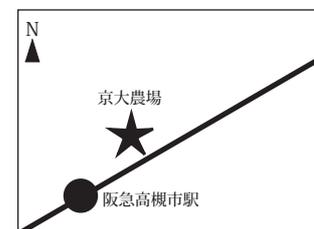
### 唐崎の段蔵 中原文雄

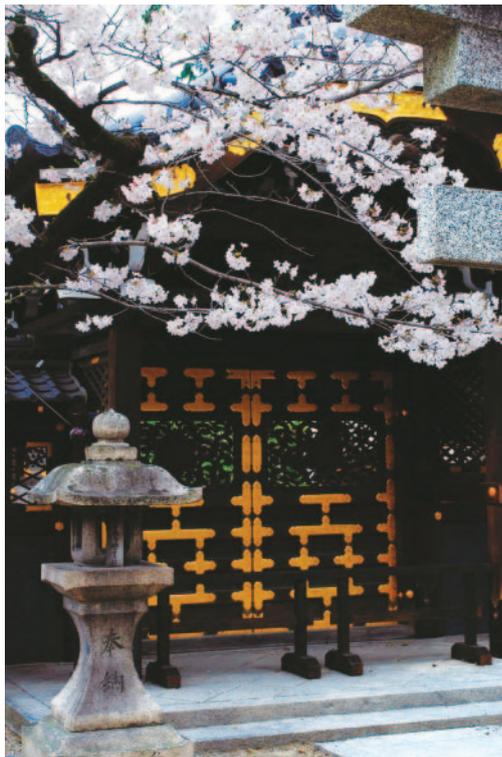
音楽のようなリズム感をみせる段蔵です。



### 京大農場 Yasu (PN)

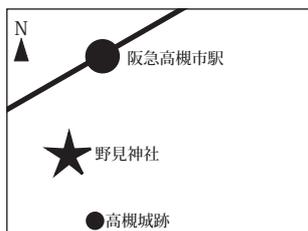
高槻市の駅から京都に向かう時に、車窓に  
 広がる緑の農場。秋の色づきたいちょう並  
 木もきれいです。この農場は近いうちに移  
 転すると聞きましたが、とても残念です。





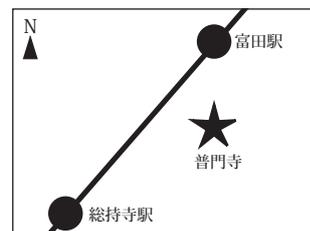
**金と白 西野 ジェン**

野見神社の桜です。野見神社は私達の結婚式や安産祈願、長男長女のお宮参りを行った縁の深い神社です。私達の様なご家族が高槻にはたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。



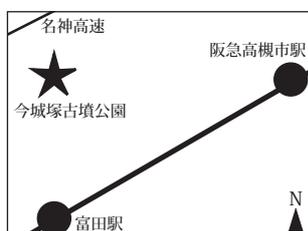
**普門寺 古賀 功**

臨済宗妙心寺派の普門寺は高槻市内にあり、重厚な屋根を持つ山門の造りに禅寺の威厳を感じました。又訪れたとき小柄ながらしろう洒な雰囲気にも包まれました。



**古墳からの名月 平田 研司**

2年前に史跡公園として整備された今城塚古墳は、見晴らしが良く、ジョギングコースとして気に入っている場所。中秋の名月が、内堀の水面に映りこんだ光景がとても美しい一枚に仕上がりました。

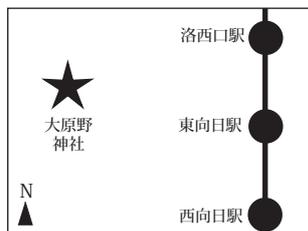




君たちに良縁あれ

田中 雅之

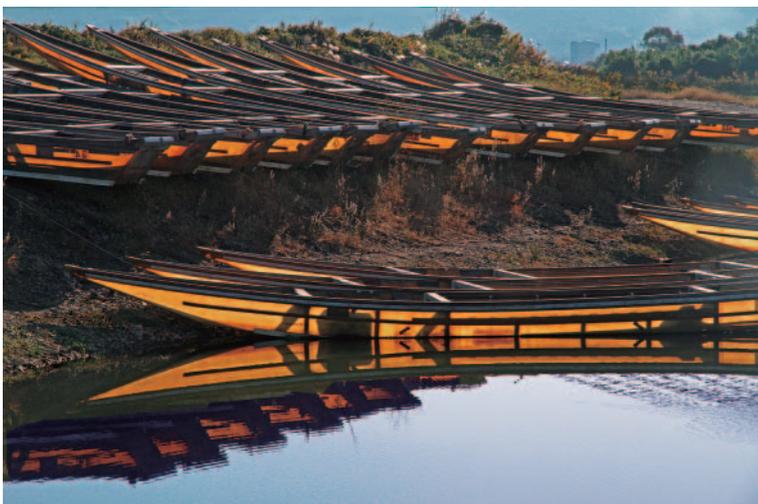
良縁を授けて下さる、女の守護神として信仰が篤い大原野神社・・・今日はお祭りの日、池に架かる橋の上で、無邪気にはしゃぐ浴衣姿の少女たちに、良縁が授けられるのは、もう少し先のことになるかな。



歳元の空

高松 恵美

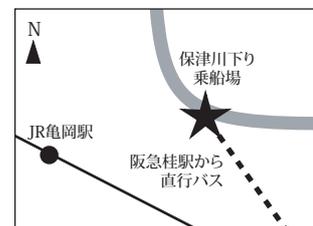
月桂冠大倉記念館にて、酒造りで使われた布が干されていました。何気ない風景も、特別なものになりました。



スタンバイ

羽嶋 和子

朝、船頭さん達が、さおをかついで、船だまりに下りて来られます。手入れされた船が、朝日を浴びて待っています。さお1本で嵐山まで川を下って行くのです。



**寺田屋へやってきました 居村 倫也**

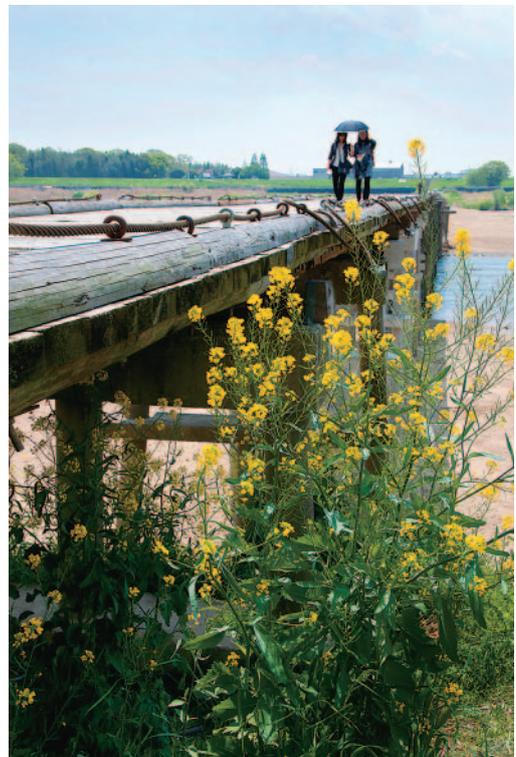
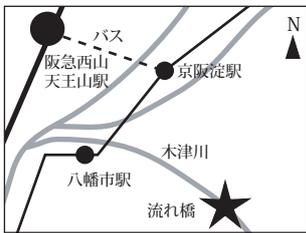
休日でもない日は見物客もまばらです。特に年齢はリタイヤ組が多いようです。私も同じ様な年齢ですから、暇にまかせて出掛けていました。



**流れ橋の春 鳴瀬 博美**

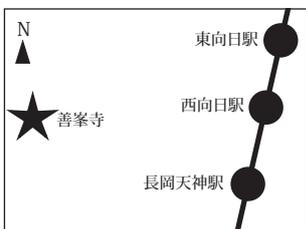
流れ橋が復旧したと知り初めて来ました。地元の人々の生活道路であり、素朴な雰囲気がいいですね。

※流れ橋は2013年9月の台風で流されたため、2013年12月現在渡ることができません。



**飛沫 眞殿 英一**

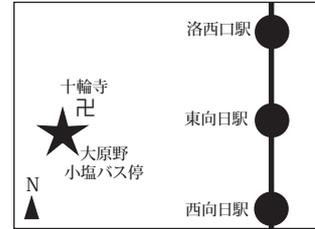
善峯寺にある手水場(ちょうずば)を逆光で撮影しました。ちょうど柄杓に落水が当たり綺麗な飛沫となり、夕刻の色づきが印象深い作品となるよう気を付けました。





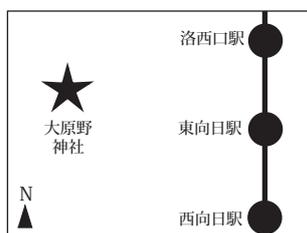
**風雨に耐えて幾星霜 大田 嘉治**

バス停に造られた雨よけ、おそらくバス会社ではなく近隣に住む有志によって遠い昔に建造されたのであろう。そこに時計を架け掲示物も貼られて、長い年月の間にすっかり市民権を得たバス停になっている。



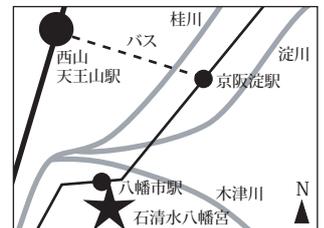
**結ぶ 田中 雅之**

縁を結び、契りを結び、実を結ぶ、みんな思いを込めて結んでいるのでしょう。ここは良縁を授けて下さる、女性の守護神として信仰が篤い神社です。みんなの懸けた願いが、みごと結実するように祈っております。



**やわたのはちまんさん 一木 聖子**

桜門とその屋根の朱塗りが、鮮明で綺麗でした。社殿までの石畳の参道は、参拝者が帰る際、お尻がまっすぐ向かないよう、角度を考えてつけられていて、感心しました。



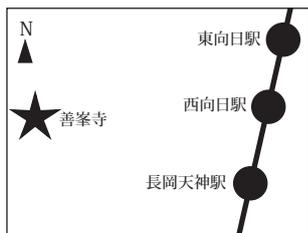
**雪の伏見 十石舟** 竹場 真司

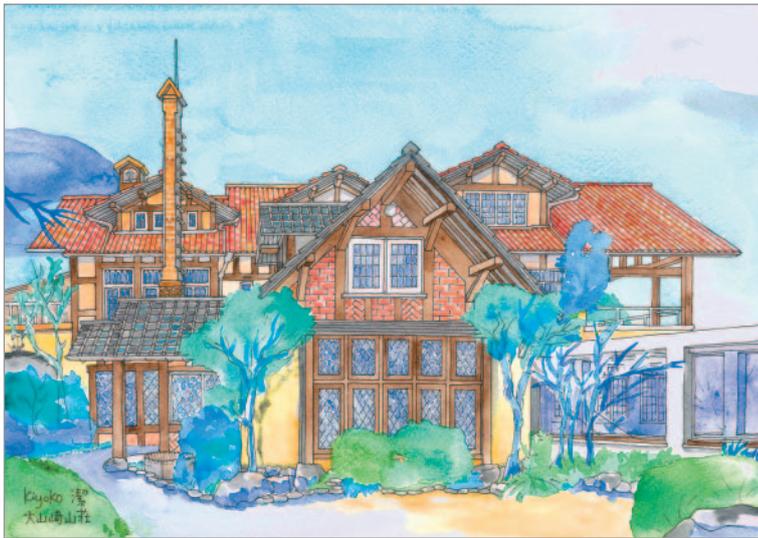
雪がしんしんと降る中、係留された十石舟がじっと春を待っています。ここ宇治川派流は豊臣秀吉によってつくられ、明治期まで京と大坂を結ぶ舟運で栄えました。今は4～12月に、遊覧船として運行されています。



**洛西を楽しむ** 西村 孝

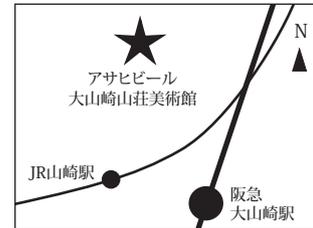
京都の洛西はここから見るべし。すごくきれいですよ。



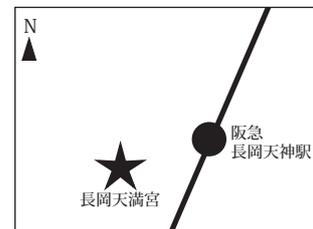


阪急沿線の建物 山口 きよ子 (3枚組)

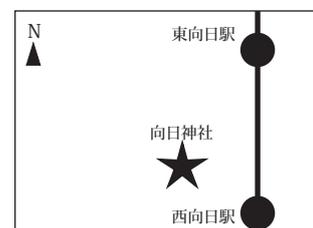
無機質な、そして狭いコンクリート住宅で育ったので、風格のある大きな洋館は小さい頃からの憧れでした。



朱色と白と緑が美しい長岡天満宮。おめでたい雰囲気を出す為に和装の家族を入れました。



両親が新婚生活を過ごした土地でもあるせいか、「向日」と言うと幸せでのどかなイメージです。向日神社、また紅葉の時期に訪れてみたいです。



## 第1回 阪急電鉄開業100周年記念 阪急ええはがきコンテスト 宝塚線・箕面線

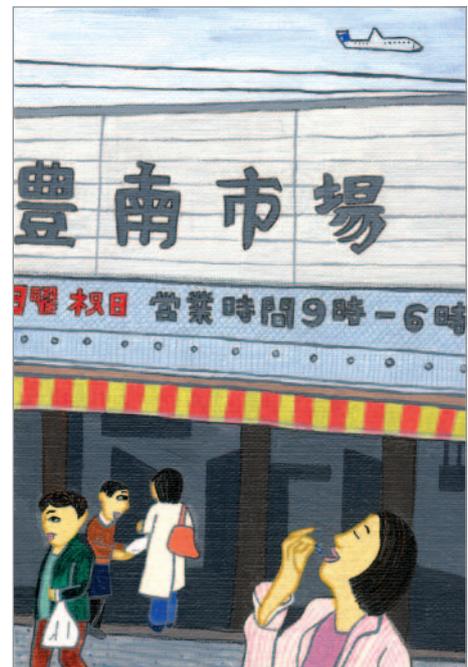
阪急電鉄開業100周年を記念して、創業当時の路線である宝塚線・箕面線沿線を対象に開催。

作品募集期間 2010年2月1日～5月7日  
 対象路線 宝塚線・箕面線  
 対象エリア 大阪市北区・淀川区、豊中市、箕面市、池田市、川西市、宝塚市  
 審査員（敬称略） 有野永霧（写真家）、井上正三（画家）、杉本容子（大阪ええはがき研究会）、茶谷幸治（イベントプロデューサー）  
 入選作品 100作品

主催 阪急電鉄株式会社  
 共催 阪急阪神ホールディングス株式会社  
 後援 大阪府、兵庫県、大阪市、豊中市、池田市、箕面市、川西市、宝塚市、池田市観光協会、箕面市観光協会、川西市観光協会、宝塚市国際観光協会  
 協力 大阪ええはがき研究会



最優秀賞 写真部門  
五月のレンゲ畑 當山悦司



最優秀賞 絵画部門  
豊南市場 内橋未央



PRポスター



開業100周年記念シンポジウムでの表彰式  
(宝塚ホテル)



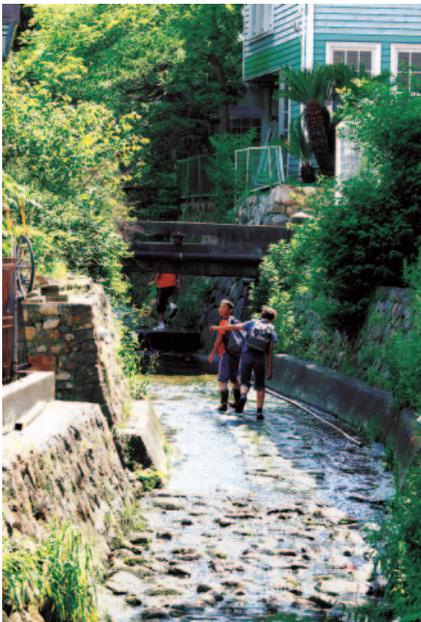
入選作品の展示  
(阪急梅田駅 CO-ビッグマン前)

第2回 映画「阪急電車 片道15分の奇跡」ロードショー記念 阪急ええはがきコンテスト 今津線

映画「阪急電車 片道15分の奇跡」のロードショーを記念して、映画の舞台である今津線沿線を対象に開催。

作品募集期間 2011年3月25日～6月3日  
 対象路線 今津線  
 対象エリア 宝塚市、西宮市  
 審査員(敬称略) 有川浩(作家)、有野永霧(写真家)、井上正三(画家)、杉本容子(大阪ええはがき研究会)  
 入選作品 54作品

主催 阪急電鉄株式会社  
 共催 阪急阪神ホールディングス株式会社  
 後援 兵庫県、宝塚市、西宮市  
 協力 大阪ええはがき研究会  
 特別協力 西宮市宝塚市内郵便局、阪急西宮ガーデンズ



最優秀賞 写真部門  
 マイ・ウェイ 本城利彦



最優秀賞 絵画部門  
 ビール工場 奥村 誠



PRポスター



入選作品の展示  
 (西宮北口駅カリヨン広場)

## 第3回 阪急ええはがきコンテスト 京都

初めて京都方面を対象にしたコンテスト。

作品募集期間 2012年3月27日～5月31日  
 対象路線 京都線(京都府域)、嵐山線  
 対象エリア 京都市中京区・東山区・下京区・右京区・西京区、向日市、長岡京市、大山崎町  
 審査員(敬称略) 有野永霧(写真家)、井上正三(画家)、杉本容子(大阪ええはがき研究会)、土居好江(NPO法人遊悠舎京すずめ)  
 入選作品 102作品

主催 阪急電鉄株式会社  
 共催 阪急阪神ホールディングス株式会社  
 後援 京都府、京都市、向日市、長岡京市、大山崎町  
 協力 大阪ええはがき研究会、株式会社阪急コミュニケーションズ



最優秀賞 写真部門  
 一本の橋 水上 毅



最優秀賞 絵画部門  
 京の風情 納涼床 中村 勇人



PRポスター



入選作品の展示  
 (梅田駅CO-ビッグマン前)

# 審査員の先生方からのメッセージ

コンテストの審査員の先生方からいただいた、コンテストを振り返ってのメッセージをご紹介します。

## 有野永霧先生 (写真家)

500点を超える驚異的な数の写真が応募されてきました。この阪急沿線は、これだけの眼差しが注がれる価値をもった地域である証といえましょう。応募者は対象エリアにお住まいの方が4割と多く、また対象エリア外の方が6割もこの地を訪れ写真を撮られた。この境界がいかに愛される地域であるかがうかがえました。作品の内容もマンネリにならず、生き生きとした情景を写し撮ったものが多く、非常に楽しい審査ができました。入選作品を見ていただくと、この沿線の独特の景観と雰囲気を楽しむ、楽しんでいただけるのではないのでしょうか。

### ■ 有野永霧(ありの えいむ)先生 プロフィール

尼崎市生まれ。大阪学芸大学(現大阪教育大学)卒業。1985年尼崎市民芸術奨励賞、2002年尼崎市民芸術賞受賞。1981年タイムライブ写真年鑑新人賞、1994年第19回伊奈信男賞受賞。国内外で多数の写真展を開催し、写真集に「虚実空間・都市」、「都市からのメッセージ」、「都市との対話」、「虚実空間・空蟬の都市」、「虚実空間・空蟬の風景」、新刊に「日本人景 温泉川」などがある。大阪芸術大学写真学科客員教授。

## 井上正三先生 (画家)

応募作品の絵を拝見して思うことは、年々、表現の多様性が膨らんでいるという点と高いレベルの作品が多くなっているということです。また、有名な観光地より、ご自分の身近な場所をいろいろ探訪し題材とした作品が多くみられました。今回は特に、新駅を記念してのコンテストでしたのでどんな作品が出品されるのか楽しみでありました。そんな期待に応えてくださる絵もあり、新たな沿線の魅力の発見があったように思います。これで4回目を数えるこのコンテストですが、回を重ねるにつれ阪急沿線には魅力的な風景がまだまだあることを実感します。このコンテストが今後も地域を再発見しその魅力を育てる郷土愛につながる一つの契機になればと思います。

### ■ 井上正三(いのうえ しょうぞう)先生 プロフィール

芦屋市在住。1994年に絵はがきシリーズ「風のたより」初出版。宝塚阪急百貨店で「阪急沿線スケッチ絵はがき原画展」を毎年開催。郵政省の絵はがきやモロゾフ製菓のパッケージデザイン、芦屋市や宝塚市の広報誌などにも数多く採用され、2002年には、芦屋市長から米姉妹都市モンテペロ市長に水彩画「芦屋川」が寄贈されている。2008年水彩画集「風の便りに彩りそえて」を日貿出版社から出版。現在、阪神間各地で絵画教室を開催。

## 杉本容子先生 (大阪ええはがき研究会)

有名な観光地ではない新駅周辺がテーマの今回、一つ一つの作品の『まちを切り取る視点』の個性が際立ったというのが一番の印象です。コンテストをきっかけに初めて訪れるまちの魅力を探ってみる、あらためて自分が暮らすまちの魅力再認識する、ご家族との思い出などパーソナルヒストリーとしてまちの魅力を語るなど、ええはがき制作過程のまちとの関わり方に厚みができました。小学生や高校生、留学生と参加者の裾野も広がり、まちの魅力を語る物語が「ええはがき」として蓄積されていることは、まちの財産です。今後も毎年恒例のお祭り、阪急沿線の「楽しみ方」スタイル、阪急沿線独自の文化としてええはがきコンテストが根付き、育っていくことを期待しています。

### ■ 杉本容子(すぎもと ようこ)先生 プロフィール

大阪ええはがき研究会メンバー。神奈川県生まれ。大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻博士前期課程修了。工学博士。まちづくりコンサルタントとして大阪の水辺再生や歴史的街なみづくりに関わるかたわら、アフターエイトに大阪のまちをおもしろくするNPO活動に積極的に参加。大阪府都市魅力創造局にて民間からの特別任用により都市魅力を創造する施策の企画調整を担当。その後、株式会社ワイキューブ・ラボを設立、代表取締役役に就任。

新駅「西山天王山」開業記念

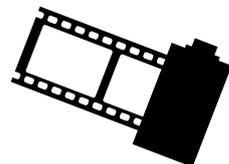
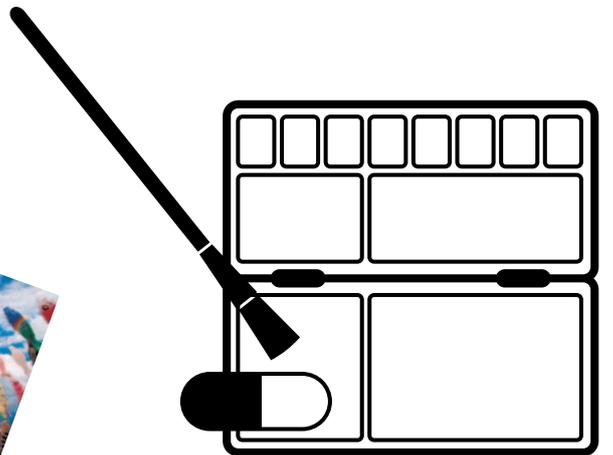
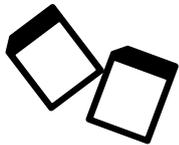
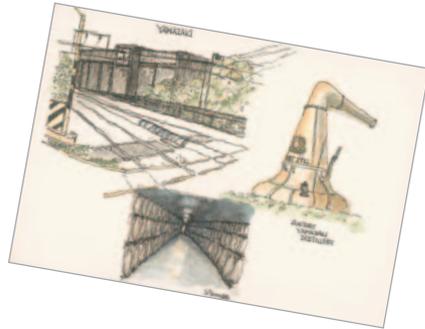
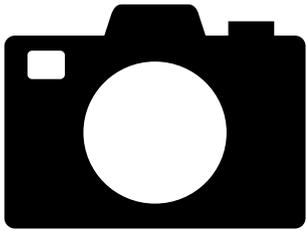
阪急ええはがきコンテスト京都線part2 入選作品集

発行 2013年12月

編集・発行 阪急電鉄株式会社 都市交通計画部  
大阪市北区芝田1-16-1

TEL 06-6373-5206

URL <http://rail.hankyu.co.jp/eehagaki/>



私たちは、未来へつなく  
「環境づくり」と「人づくり」に貢献します。